中学校歴史 単元別学習 90 問

第 3 単元 律令国家の成立と展開

範囲：飛鳥時代／律令国家の仕組み／奈良時代／飛鳥文化・天平文化
用語を確かめ、出来事の順序や、暮らし・政治・文化のつながりを説明しよう。

STEP 1 一問一答 50 問

飛鳥の政治と東アジア

問 1　6 世紀に仏教を日本へ公式に伝えたとされる、朝鮮半島の国はどこか。

問 2　聖徳太子が政治を助けた、飛鳥時代の女性天皇は誰か。

問 3　推古天皇を助け、冠位十二階などの改革に関わったとされる皇族は誰か。

問 4　聖徳太子とともに推古天皇を支えた、蘇我氏の有力者は誰か。

問 5　家柄だけでなく個人の能力や功績も重んじて、役人に位を与えた制度は何か。

問 6　604 年に定められたとされる、役人の心構えを示したきまりは何か。

問 7　隋の制度や文化を学ぶため、日本から送った使節を何というか。

問 8　607 年の遣隋使として派遣された人物は誰か。

問 9　618 年に隋に代わって成立し、東アジアに大きな影響を与えた王朝は何か。

問 10　唐の制度や文化を学ぶため、日本から送った使節を何というか。

大化の改新から律令国家へ

問 11　645 年に中臣鎌足らと蘇我入鹿を倒し、のちに天智天皇となった人物は誰か。

問 12　中大兄皇子と協力して政治改革を進め、藤原氏の祖となった人物は誰か。

問 13　645 年の蘇我氏打倒をきっかけに始まった、一連の政治改革を何というか。

問 14　豪族の土地と人々を、国家が直接支配しようとした原則を何というか。

STEP 1 一問一答 50 問 続き

問 15　663 年、百済を助けた日本の軍が唐・新羅の連合軍に敗れた戦いは何か。

問 16　672 年に大海人皇子と大友皇子の間で起こった争いは何か。

問 17　壬申の乱に勝った大海人皇子は、何天皇として知られるか。

問 18　天武天皇のあとを継ぎ、藤原京へ都を移した女性天皇は誰か。

問 19　694 年に都が移された、奈良盆地南部の都市は何か。

律令国家の仕組みと人々の負担

問 20　701 年に制定され、唐にならう国家の仕組みを整えた法律は何か。

問 21　律令のうち、犯罪と刑罰について定めた法を何というか。

問 22　律令のうち、役所の仕組みや人々の負担などを定めた法を何というか。

問 23　人々の名前・年齢・性別・家族関係などを記した台帳を何というか。

問 24　戸籍にもとづいて口分田を与え、死後に返させた土地制度を何というか。

問 25　班田収授法によって人々に与えられた田を何というか。

問 26　田の面積に応じ、収穫した稲の一部を納める税は何か。

問 27　都での労働の代わりに、布などを納める税は何か。

問 28　布や地方の特産物などを納める税は何か。

問 29　地方の土木工事などで働く義務を何というか。

奈良の政治と土地制度

問 30　710 年に都が移された、現在の奈良市を中心とする都市は何か。

問 31　710 年に平城京へ都を移した女性天皇は誰か。

問 32　中央から派遣され、地方の国を治めた役人を何というか。

問 33　地方の豪族から選ばれ、国司のもとで郡を治めた役人は何か。

問 34　おもに北部九州の防衛についた兵士を何というか。

問 35　708 年に発行され、平城京の造営などにも使われた貨幣は何か。

問 36　723 年に、新しく開いた田の私有を一定期間認めた法は何か。

問 37　743 年に、新しく開いた田の永久の私有を認めた法は何か。

飛鳥文化と天平文化

問 38　7 世紀前半、聖徳太子の時代を中心に栄えた仏教文化は何か。

問 39　現存する世界最古の木造建築群で知られる、奈良県の寺はどこか。

問 40　奈良時代に栄え、唐や西アジアの影響も受けた国際色豊かな文化は何か。

問 41　国分寺の建立を命じ、大仏を造らせた奈良時代の天皇は誰か。

問 42　聖武天皇が国ごとに建立を命じた、僧のための寺を何というか。

問 43　奈良に大仏が造られ、全国の国分寺の中心となった寺はどこか。

問 44　唐から来日し、仏教の戒律を伝え、唐招提寺を開いた僧は誰か。

宝物と歴史書と和歌

問 45　聖武天皇の遺品など、天平文化を伝える品々が納められた宝庫は何か。

問 46　712 年に完成し、神話や天皇の事績などをまとめた歴史書は何か。

問 47　720 年に完成した、出来事を年代順に記す国家による歴史書は何か。

問 48　奈良時代に、国ごとの地理・産物・伝承などをまとめた書物は何か。

問 49　天皇・貴族から防人などまで、幅広い人々の和歌を収めた歌集は何か。

問 50　『貧窮問答歌』で、人々の貧しい暮らしなどを詠んだ歌人は誰か。

STEP 2 歴史の並び替え 20 問

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 1　飛鳥の改革と中国の変化

ア 小野妹子が隋へ派遣される　　イ 十七条の憲法が定められる
ウ 中国で唐が成立する　　エ 冠位十二階が定められる

問 2　仏教の伝来と東アジアとの交流

ア 日本の軍が白村江で敗れる　　イ 小野妹子が隋へ派遣される
ウ 百済から仏教が公式に伝わる　　エ 最初の遣唐使が送られる

問 3　飛鳥の政治から法律の整備へ

ア 庚午年籍という戸籍が作られる　　イ 蘇我入鹿が倒され、改革が始まる
ウ 推古天皇が即位する　　エ 大宝律令が制定される

問 4　戦いと国家づくり

ア 日本の軍が白村江で敗れる　　イ 大宝律令が制定される
ウ 蘇我入鹿が倒され、改革が始まる　　エ 壬申の乱が起こる

問 5　天皇の即位と継承の争い

ア 推古天皇が即位する　　イ 壬申の乱が起こる
ウ 持統天皇が即位する　　エ 中大兄皇子が天皇に即位する

問 6　都と律令国家の発展

ア 都が平城京へ移される　　イ 都が藤原京へ移される
ウ 国分寺・国分尼寺の建立を命じる　　エ 大宝律令が制定される

問 7　政治のきまりと土地の改革

ア 蘇我入鹿が倒され、改革が始まる　　イ 墾田永年私財法が出される
ウ 大宝律令が制定される　　エ 十七条の憲法が定められる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 8　土地をめぐる原則と法

ア 改新の詔で公地公民の方針を示す　　イ 大宝律令が制定される
ウ 三世一身法が出される　　エ 墾田永年私財法が出される

問 9　唐にならう国づくり

ア 都が平城京へ移される　　イ 中国で唐が成立する
ウ 大宝律令が制定される　　エ 最初の遣唐使が送られる

問 10　仏教の伝来から奈良の寺院へ

ア 百済から仏教が公式に伝わる　　イ 鑑真が唐招提寺を開く
ウ 国分寺・国分尼寺の建立を命じる　　エ 東大寺で大仏の開眼供養を行う

問 11　奈良の都と書物の編纂

ア 日本書紀が完成する　　イ 諸国に風土記の編纂を命じる
ウ 古事記が完成する　　エ 都が平城京へ移される

問 12　政治と文化のあゆみ

ア 古事記が完成する　　イ 日本書紀が完成する
ウ 鑑真が唐招提寺を開く　　エ 十七条の憲法が定められる

問 13　貨幣・都・歴史書・土地法

ア 古事記が完成する　　イ 三世一身法が出される
ウ 都が平城京へ移される　　エ 和同開珎が発行される

問 14　天武天皇の即位から貨幣の発行へ

ア 和同開珎が発行される　　イ 大宝律令が制定される
ウ 大海人皇子が天皇に即位する　　エ 都が藤原京へ移される

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 15　奈良時代の仏教と土地制度

ア 鑑真が唐招提寺を開く　　イ 墾田永年私財法が出される
ウ 東大寺で大仏の開眼供養を行う　　エ 国分寺・国分尼寺の建立を命じる

問 16　律令と奈良時代の政策

ア 大宝律令が制定される　　イ 墾田永年私財法が出される
ウ 三世一身法が出される　　エ 和同開珎が発行される

問 17　社会の不安と仏教による国づくり

ア 国分寺・国分尼寺の建立を命じる　　イ 聖武天皇が即位する
ウ 天然痘が大流行する（737 年）　　エ 東大寺で大仏の開眼供養を行う

問 18　東アジアの変化から平城京へ

ア 壬申の乱が起こる　　イ 都が平城京へ移される
ウ 中国で唐が成立する　　エ 日本の軍が白村江で敗れる

問 19　戸籍・都・書物を整える

ア 都が藤原京へ移される　　イ 古事記が完成する
ウ 庚午年籍という戸籍が作られる　　エ 諸国に風土記の編纂を命じる

問 20　飛鳥から奈良へ流れをたどる

ア 東大寺で大仏の開眼供養を行う　　イ 冠位十二階が定められる
ウ 壬申の乱が起こる　　エ 都が平城京へ移される

STEP 3 記述問題 20 問

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 1　冠位十二階を定めたことには、役人の選び方と天皇の力の面で、どのようなねらいがあったか。

問 2　十七条の憲法は、役人にどのような姿勢を求めたものか。「天皇」「協力」の語を使って説明しなさい。

問 3　日本が隋や唐に使節を送り、留学生や僧も渡ったのはなぜか。日本の国づくりと結び付けて説明しなさい。

問 4　大化の改新で目指された公地公民とは、土地と人々の支配をどのように変えようとする原則か。豪族と国家の関係から説明しなさい。

問 5　白村江の戦いで敗れた後、日本が北部九州などの防備を強めたのはなぜか。相手となった国々にも触れて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 6　壬申の乱に勝った天武天皇は、どのような国づくりを進めたか。「天皇」「律令」の語を使って説明しなさい。

問 7　律令の「律」と「令」は、それぞれ何について定めたものか。違いが分かるように説明しなさい。

問 8　律令国家が人々の年齢や性別などを戸籍に記したのはなぜか。「口分田」「税」の語を使って説明しなさい。

問 9　班田収授法では、口分田をどのように与え、どのように返させたか。「戸籍」「死後」の語を使って説明しなさい。

問 10　租・庸・調は、それぞれ何を納める税だったか。庸は何の代わりだったかも含めて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 11　農民の負担は、税として品物を納めることだけではなかった。資料から、ほかの負担を二つ挙げ、暮らしへの影響を説明しなさい。

資料　税の品物は人々が都へ運んだ。旅の食料なども自分で用意し、地方の土木工事や兵役も負担した。

問 12　政府が和同開珎を発行した目的と、当時の貨幣の広がりについて、資料を使って説明しなさい。

資料　都の造営の支払いなどに銭が使われた。一方、地方では米や布などを使った交換も続いた。

問 13　三世一身法と墾田永年私財法は、新しく開いた田の扱いがどう違うか。また、どちらも何を促そうとした法か。

問 14　聖武天皇が国分寺の建立を命じ、大仏を造らせたのはなぜか。当時の社会の様子と結び付けて説明しなさい。

問 15　正倉院の宝物には、唐や西アジアの文化の影響が見られる。こうした文化が日本へ伝わった経路を説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 16　飛鳥文化と天平文化の共通点と違いを、栄えた時期・宗教・外国との交流から説明しなさい。

問 17　発展　十七条の憲法と、現在の日本国憲法は、同じ「憲法」という名でも性格が異なる。それぞれの目的や内容の違いを説明しなさい。

問 18　発展　「墾田永年私財法で、すべての田が私有地になり、税もなくなった」という説明は適切か。対象となる田と、税の扱いから説明しなさい。

問 19　発展　万葉集の防人の歌には、故郷や家族を思うものがある。こうした歌から分かることと、歌だけで当時の人々全体を判断できない理由を説明しなさい。

問 20　発展　「645 年に大化の改新が始まると、すぐに律令国家が完成した」といえるか。資料を使い、国づくりの過程を説明しなさい。

資料　645 年：大化の改新が始まる／672 年：壬申の乱／701 年：大宝律令の制定

解答 STEP 1 一問一答

表記が異なっていても、同じ内容を正しく示していれば正解とします。

番号	解答	番号	解答
1	百済	26	租
2	推古天皇	27	庸
3	聖徳太子	28	調
4	蘇我馬子	29	雑徭
5	冠位十二階	30	平城京
6	十七条の憲法	31	元明天皇
7	遣隋使	32	国司
8	小野妹子	33	郡司
9	唐	34	防人
10	遣唐使	35	和同開珎
11	中大兄皇子	36	三世一身法
12	中臣鎌足	37	墾田永年私財法
13	大化の改新	38	飛鳥文化
14	公地公民	39	法隆寺
15	白村江の戦い	40	天平文化
16	壬申の乱	41	聖武天皇
17	天武天皇	42	国分寺
18	持統天皇	43	東大寺
19	藤原京	44	鑑真
20	大宝律令	45	正倉院
21	律	46	古事記
22	令	47	日本書紀
23	戸籍	48	風土記
24	班田収授法	49	万葉集
25	口分田	50	山上憶良

認められる表記の例

問 3：厩戸皇子・厩戸王も可。問 6：十七条憲法・憲法十七条も可。
問 13：大化改新も可。問 15：白村江の戦も可。問 36：三世一身の法も可。
問 35：和同開珍も可。問 37：墾田永年私財の法も可。問 50：やまのうえのおくらも可。

解答 STEP 2 並び替え

「前」は紀元前を表します。古代の年代は目安を含み、地域によって変化の時期は異なります。

番号	答え	解説
1	エ→イ→ア→ウ	冠位十二階（603 年） → 十七条の憲法（604 年と伝わる） → 小野妹子の遣隋使（607 年） → 唐の成立（618 年）
2	ウ→イ→エ→ア	仏教の公伝（6 世紀。538 年・552 年などの説） → 小野妹子の遣隋使（607 年） → 最初の遣唐使（630 年） → 白村江の戦い（663 年）
3	ウ→イ→ア→エ	推古天皇の即位（592 年） → 大化の改新の始まり（645 年） → 庚午年籍の作成（670 年） → 大宝律令（701 年）
4	ウ→ア→エ→イ	大化の改新の始まり（645 年） → 白村江の戦い（663 年） → 壬申の乱（672 年） → 大宝律令（701 年）
5	ア→エ→イ→ウ	推古天皇の即位（592 年） → 天智天皇の即位（668 年） → 壬申の乱（672 年） → 持統天皇の即位（690 年）
6	イ→エ→ア→ウ	藤原京への遷都（694 年） → 大宝律令（701 年） → 平城京への遷都（710 年） → 国分寺・国分尼寺の建立命令（741 年）
7	エ→ア→ウ→イ	十七条の憲法（604 年と伝わる） → 大化の改新の始まり（645 年） → 大宝律令（701 年） → 墾田永年私財法（743 年）
8	ア→イ→ウ→エ	改新の詔（646 年） → 大宝律令（701 年） → 三世一身法（723 年） → 墾田永年私財法（743 年）
9	イ→エ→ウ→ア	唐の成立（618 年） → 最初の遣唐使（630 年） → 大宝律令（701 年） → 平城京への遷都（710 年）
10	ア→ウ→エ→イ	仏教の公伝（6 世紀。538 年・552 年などの説） → 国分寺・国分尼寺の建立命令（741 年） → 大仏の開眼供養（752 年） → 唐招提寺の創建（759 年）

解答 STEP 2 並び替え 続き

番号	答え	解説
11	エ→ウ→イ→ア	平城京への遷都（710 年） → 古事記の完成（712 年） → 風土記の編纂命令（713 年） → 日本書紀の完成（720 年）
12	エ→ア→イ→ウ	十七条の憲法（604 年と伝わる） → 古事記の完成（712 年） → 日本書紀の完成（720 年） → 唐招提寺の創建（759 年）
13	エ→ウ→ア→イ	和同開珎の発行（708 年） → 平城京への遷都（710 年） → 古事記の完成（712 年） → 三世一身法（723 年）
14	ウ→エ→イ→ア	天武天皇の即位（673 年） → 藤原京への遷都（694 年） → 大宝律令（701 年） → 和同開珎の発行（708 年）
15	エ→イ→ウ→ア	国分寺・国分尼寺の建立命令（741 年） → 墾田永年私財法（743 年） → 大仏の開眼供養（752 年） → 唐招提寺の創建（759 年）
16	ア→エ→ウ→イ	大宝律令（701 年） → 和同開珎の発行（708 年） → 三世一身法（723 年） → 墾田永年私財法（743 年）
17	イ→ウ→ア→エ	聖武天皇の即位（724 年） → 天然痘の大流行（737 年） → 国分寺・国分尼寺の建立命令（741 年） → 大仏の開眼供養（752 年）
18	ウ→エ→ア→イ	唐の成立（618 年） → 白村江の戦い（663 年） → 壬申の乱（672 年） → 平城京への遷都（710 年）
19	ウ→ア→イ→エ	庚午年籍の作成（670 年） → 藤原京への遷都（694 年） → 古事記の完成（712 年） → 風土記の編纂命令（713 年）
20	イ→ウ→エ→ア	冠位十二階（603 年） → 壬申の乱（672 年） → 平城京への遷都（710 年） → 大仏の開眼供養（752 年）

解答 STEP 3 記述問題

模範解答は一例です。同じ意味を正しく説明できていれば正解とします。
「採点のポイント」を満たすか確認し、足りない言葉を自分の解答に加えよう。

問題	模範解答	採点のポイント
問 1 冠位十二階のねらい	豪族の家柄だけでなく、個人の能力や功績も重んじて役人を取り立て、天皇を中心に働く役人の仕組みを整えようとした。	能力・功績を重んじることと、天皇中心の役人の仕組みを結び付ける。
問 2 十七条の憲法の目的	天皇の命令に従い、役人どうしが協力して、私的な利益にとらわれず国の政治を行うよう求めた。	天皇への服従と、役人が協力して公の政治を行う姿勢を示す。
問 3 遣隋使と遣唐使	隋や唐の進んだ政治制度、仏教、学問などを学び、日本の政治や文化を整え、天皇を中心とする国づくりに役立てるため。	制度・文化などを学ぶことを、日本の国づくりに生かす目的と結び付ける。
問 4 公地公民という原則	豪族が個別に支配していた土地と人々を、天皇を中心とする国家が直接支配する仕組みに変えようとする原則である。	豪族による個別の支配から、国家による直接の支配への転換を示す。
問 5 白村江の敗戦と防衛	百済を助けた日本の軍が唐・新羅の連合軍に敗れ、唐や新羅が日本へ攻めてくることを警戒したため。	唐・新羅に敗れたことと、その後の侵攻への警戒を結び付ける。
問 6 天武天皇の国づくり	天皇の力を強め、役人の組織や人々を支配する制度を整えるとともに、律令の編纂を進め、天皇中心の国家を目指した。	天皇の力の強化と、律令など国家の制度の整備を示す。
問 7 律と令の違い	律は犯罪とそれに対する刑罰を定めた法で、令は役所の仕組みや人々の負担など、政治や行政の仕組みを定めた法である。	律は犯罪・刑罰、令は政治・行政の仕組みという違いを示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 8 戸籍を作る理由	人々の年齢や性別などを把握し、それにもとづいて口分田を与え、税や労働などの負担を定めるため。	人々の把握を、口分田の配分と税などの負担の両方に結び付ける。
問 9 班田収授法の仕組み	戸籍にもとづいて、原則として 6 歳以上の人々に身分や性別などに応じた口分田を与え、死後、次の班田の際に返させた。	戸籍にもとづく口分田の配分と、死後に国家へ返す仕組みを示す。
問 10 租と庸と調	租は田の面積に応じた稲、庸は都での労働の代わりの布など、調は布や地方の特産物などを納める税だった。	租・庸・調を区別し、庸が都での労働の代わりであることも示す。
問 11 農民の負担を考える	税を運ぶ旅の費用と時間を負担し、土木工事や兵役でも働いたため、家の農作業に使う人手や時間が減った。	運搬・旅費・労働・兵役などから二つを挙げ、生活や農作業への影響を示す。
問 12 貨幣の発行と広がり	政府は都の造営の支払いなどに貨幣を利用し、流通を広げようとした。しかし、地方まで一様に普及したわけではなかった。	造営などへの貨幣の利用と、流通には地域差があったことを示す。
問 13 二つの開墾の法	三世一身法は条件により三代または一代、墾田永年私財法は永久の私有を認めた。どちらも開墾を促し、耕地を増やそうとした。	期限の有無の違いと、開墾・耕地拡大を促す共通の目的を示す。
問 14 聖武天皇と仏教	疫病や反乱などで社会が不安定だったため、仏教の力で国を守り、人々の暮らしを安定させようとした。	疫病・反乱などの不安と、仏教による国家や人々の安定を結び付ける。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 15 天平文化の国際性	シルクロードなどで唐へ伝わった文化が、遣唐使や来日した人々などを通して日本にも伝えられた。	西アジアなどと唐の交流、唐と日本の交流というつながりを示す。
問 16 飛鳥文化と天平文化	両方とも仏教を基礎とする。飛鳥文化は 7 世紀前半に朝鮮半島や中国の影響を受けて栄え、天平文化は奈良時代に唐や西アジアの影響も受け、国際色豊かに栄えた。	時期の違い、仏教という共通点、朝鮮半島・中国や唐・西アジアとの交流を示す。
問 17 二つの憲法を比べる	十七条の憲法は、天皇に仕える役人の心構えを示した。日本国憲法は、国の基本的な仕組みを定め、国民の権利を保障する基本法である。	役人の心得と、国の基本的な仕組み・権利保障を定める基本法の違いを示す。
問 18 私有と税を区別する	適切ではない。永久の私有が認められたのは新たに開いた田で、口分田がすべて私有地になったわけではない。また、私有が認められても租は納めた。	新たな開墾地が対象であることと、私有と免税は別であることの両方を示す。
問 19 和歌を歴史の手がかりにする	遠い任地へ行く人の思いや家族への気持ちを知る手がかりになる。ただし、残された一部の歌であり、すべての人の暮らしや考えを表すとは限らない。	心情を知る手がかりになる点と、一部の歌から全体を断定できない限界を示す。
問 20 国家の成立を長い流れで見る	いえない。大化の改新で改革が始まり、壬申の乱後の天武天皇らによる制度の整備を経て、大宝律令が制定されるなど、国づくりは段階的に進んだ。	複数の出来事を順序立てて挙げ、制度が長い時間をかけて整ったことを示す。